

♣ 平成15年分高額納税者

Q : 平成15年分の高額納税者が全国の税務署で公示されたそうですが、内容を教えてください。

A : 公示対象者は平成に入ってから最低の人数となりました。

【解説】

平成15年分の確定申告で所得税額が1千万円を超えた高額納税者が、全国の524税務署で一斉に公示されました。今回の公示対象者は前年分よりも1.9%少ない7万3959人で、現行の公示方式（それまでは、所得金額1千万超が公示の条件）に変わった昭和58年以降では3番目に少なく、平成に入ってからでは最低の人数となりました。また、納税額についても10億円を超えたのはわずかに2人となっています。

上位100人の内訳を見ると、事業、給与、配当を主な所得とする本業で所得を得た人が55人と最も多くなっています。また、株式の売買を収入源とする人は29人ですが、上場株式などのように市場取引により利益を得た人は少なく、非上場株式を自社や関連会社に売却して利益を得た人の方が多くなっています。一方、土地譲渡で所得を得た人は7人となっており、株長者や土地長者よりも本業で所得を得ている人の方が多いという結果になっています。

平成15年分の高額納税者第1位は健康食品を販売する齋藤一人代表で、ほぼ全額が事業所得となっており、昨年も第2位に入っていました。

